

記者発表資料

提供年月日：令和2年(2020年)10月13日

部 局 名：土木交通部

所 属 名：交通戦略課

担 当 名：交通企画係

担当者名：本庄

電 話：077-528-3681

F A X：077-528-4837

e-mail：hc00@pref.shiga.lg.jp

J R南草津駅周辺交通社会実験について

J R南草津駅周辺は、交通量が多く、到着時間等を予測できないなどバスの利便性が低下しており、公共交通の定時性確保が必要となっています。

このため、今回、J R南草津駅東口ロータリーの交通混雑の緩和と公共交通の利便性、定時性確保に向けて交通社会実験を実施しますので、お知らせします。

記

1. 日 程 令和2年10月19日(月)～11月13日(金)
7時30分～9時00分 平日のみ19日間
2. 概 要 東口ロータリー及びそこに接続する市道を、一般車両通行規制
東口の送迎車両については、西口ロータリーへ誘導
路上駐車対策として、西友の駐車場を臨時乗降スペースとする
3. 評価項目 公共交通の定時性確保のための効果検証としては、バス待ち状況、交差点
交通量、通過時間、渋滞長等を計測(実験前、実験中(実験当初、後半、
降雨日))し、軽減状況を把握
西口ロータリーの使われ方を動画撮影し、分析
4. 広報周知 広報周知については、9月から実施中
(広報誌(広報くさつ9/15)、チラシ、ポスター、看板、道路情報板、
駅サイネージ、大学連絡メール、道路情報等)
実験前には、啓発活動を実施
5. 現地本部 現地対策本部を、UDCBK(アーバンデザインセンターびわこくさつ)内に設置

6. 規制箇所図



※1 南草津駅周辺交通対策検討会

滋賀県と草津市が事務局となり、関係者で組織する南草津駅周辺交通対策検討会にて、社会実験の内容を検討しています。

第1回検討会は、令和元年5月20日に開催し、これまでに4回開催しています。

草津市、滋賀県、国土交通省滋賀国道事務所、国土交通省滋賀運輸支局、滋賀県警察本部、草津警察署、滋賀県南部土木事務所、交通事業者（滋賀県バス協会、近江鉄道(株)、帝産湖南交通(株)、滋賀県タクシー協会、西日本旅客鉄道(株))、立命館大学、パナソニック(株)、ダイキン工業(株)、遺跡と萩の育む玉川まちづくり推進会議、老上学区まちづくり協議会

※2 南草津駅乗降者数 (R1年度)

30,442人/日 (1位)

2位草津駅 29,569人/日、3位石山駅 24,103人/日、4位瀬田駅 18,224人/日